

宮崎県の農林水産業の概要

特徴・取組

宮崎県は、九州の東南部に位置し、山岳地帯が多く、平地は宮崎平野と西諸県（にしもろかた）・北諸県（きたもろかた）盆地を有しているものの、総面積7,734km²のうち5,844km²（75.6%）が森林で、農地は644km²（8.3%）であり、農地のほとんどは火山性特殊土壌である。

海岸線は総延長398kmで、北部と南部で一部屈曲に富んでいるが、中部は平坦な砂丘地帯である。

「日本のひなた宮崎県」に象徴されるように、日照時間は全国トップクラスで平均気温が高く温暖な気候に恵まれている。

一方、大消費地から遠隔地にあるなど、輸送面で不利な条件はあるが、東九州自動車道宮崎－北九州間の全線開通や、国際化に対応した空港・港湾の整備など、交通、物流の基盤整備が進み、令和4年度からは新造の大型カーフェリー2隻が就航し、大消費地へ多くの農畜産物が輸送されるなど、宮崎県農業の重要な役割を担っている。

産業構造は、県内総生産（令和4年度：3兆7,669億円）を産業別にみると、第1次産業が1,834億円（4.9%）、第2次産業が9,300億円（24.7%）、第3次産業が2兆6,107億円（69.3%）となっている。

農業は、畜産や施設園芸といった労働型の経営品目が主力で、収益性の高い農業を展開し、農業産出額は3,000億円半ばで推移（令和5年は全国第6位、3,720億円、前年比6.1%増）。農業産出額は、ブロイラー、肉用牛、豚、きゅうり、鶏卵、米、ピーマン、生乳、トマト、かんしょが上位10品目を占めている。林業は、全国に先駆けてスギを中心とする人工林資源が利用期を迎え、路網の整備や高性能林業機械の導入、木材の加工・流通体制の整備に取り組んだ結果、本県のスギ素材（丸太）生産量は33年連続して日本一となっている。

漁業は、北上する黒潮と、南下する沿岸水により複雑な海況となっており、沿岸はイワシ、アジ、サバ等の好漁場となり、沖合にはカツオ、マグロの漁場が形成されている。

令和5年度の農畜水産物の輸出額は、約115億円（前年度比103%）で過去最高を更新した。輸出額全体の約8割を畜産物が占め、その内、牛肉が約84億円（同106%）と増加。

水産物では、米国向け養殖ブリ等の減少により、約15億円（同83%）。農産物では、茶や花きを中心に増加し、約10億円（同103%）。

輸出先国・地域別の輸出額では、米国が約29億円で最も多く、次いで台湾、香港、シンガポール、EUとなっている。

主な農林水産物

肉用牛

第12回「全国和牛能力共進会」において「宮崎牛」は内閣総理大臣賞を4大会連続で受賞。

平成29年12月にG I登録。

大相撲の優勝力士には、宮崎県知事賞として 宮崎牛1頭分が毎場所贈呈されている。（飼養頭数全国3位）



豚

安心安全な県産豚肉「宮崎ブランドポーク」など、高品質で特徴ある豚肉生産を推進。（飼養頭数全国3位）



ピーマン

全国有数の冬春ピーマン産地。ビタミンCの含有量が高く、「みやざきビタミンピーマン」として健康に着目した販売にも取り組む。（収穫量全国2位）



きゅうり

鮮度抜群の「ワンタッチきゅうり」など、高い生産技術により年間を通じ高品質で安定した量を出荷する一大産地。（収穫量全国1位）



スギ

森林資源の充実や全国トップクラスの生産基盤を背景に、スギ素材（丸太）生産量は、平成3年以降連続して日本一を誇る。



ブロイラー

年間1億羽以上を出荷し、多くの関連産業や雇用面から、地域経済を支える基幹品目。（飼養羽数全国2位）



マンゴー

品質にこだわり、樹上完熟し自然落果したものだけを収穫。ブランド「太陽のタマゴ」は全国的に高い認知度を誇る。（収穫量全国2位）



きんかん

完熟きんかん「たまたま」は、大玉で糖度16度以上と甘く、生のままおいしく食べられる。（収穫量全国1位）



かつお類・まぐろ類

近海かつお一本釣りによる漁獲量は、平成6年から連続全国一で、令和2年度日本農業遺産に認定される。

まぐろ延縄漁業も沿岸で1位、近海で2位と全国上位の漁獲量を誇る。



うなぎ（養殖）

温暖な気候と豊富な地下水を活かした養殖が発展。宮崎方式と呼ばれる養殖池で安定した水質と疾病予防効果により、高い生産性と高品質なウナギの生産が可能。（収穫量全国3位）



宮崎県内の各地域における農林水産物

西臼杵地区

- 【農産物】 水稻、トマト類、きゅうり、ほうれんそう、ピーマン、くり、きんかん、ゆず、ホオズキ、ランタンキュラス、茶、葉たばこ
- 【畜産物】 肉用牛、ブロイラー
- 【林産物】 スギ、乾しいたけ
- 【水産物】 やまめ

西諸県（にしもろかた）地区

- 【農産物】 水稻、メロン、ごぼう、さといも、ほうれんそう、ピーマン、いちご、なし、ぶどう、くり、マンゴー、輪ぎく、鉢苗物、ランタンキュラス
- 【畜産物】 肉用牛、乳用牛、豚、ブロイラー、採卵鶏
- 【林産物】 スギ
- 【水産物】 チョウザメ

北諸県（きたもろかた）地区

- 【農産物】 水稻、きゅうり、ごぼう、さといも、いちご、ほうれんそう、かんしょ、きんかん、キク、茶
- 【畜産物】 肉用牛、乳用牛、豚、ブロイラー、採卵鶏
- 【林産物】 スギ、生しいたけ
- 【水産物】 こい

南那珂地区

- 【農産物】 水稻、かんしょ、ピーマン、きゅうり、ごぼう、温州みかん、マンゴー、きんかん、ぽんかん、日向夏、不知火、スイートピー、ホオズキ、葉たばこ
- 【畜産物】 肉用牛、乳用牛、豚、ブロイラー
- 【林産物】 スギ
- 【水産物】 かつお類、まぐろ類、ぶり類、まあじ、いせえび、チョウザメ

東臼杵地区

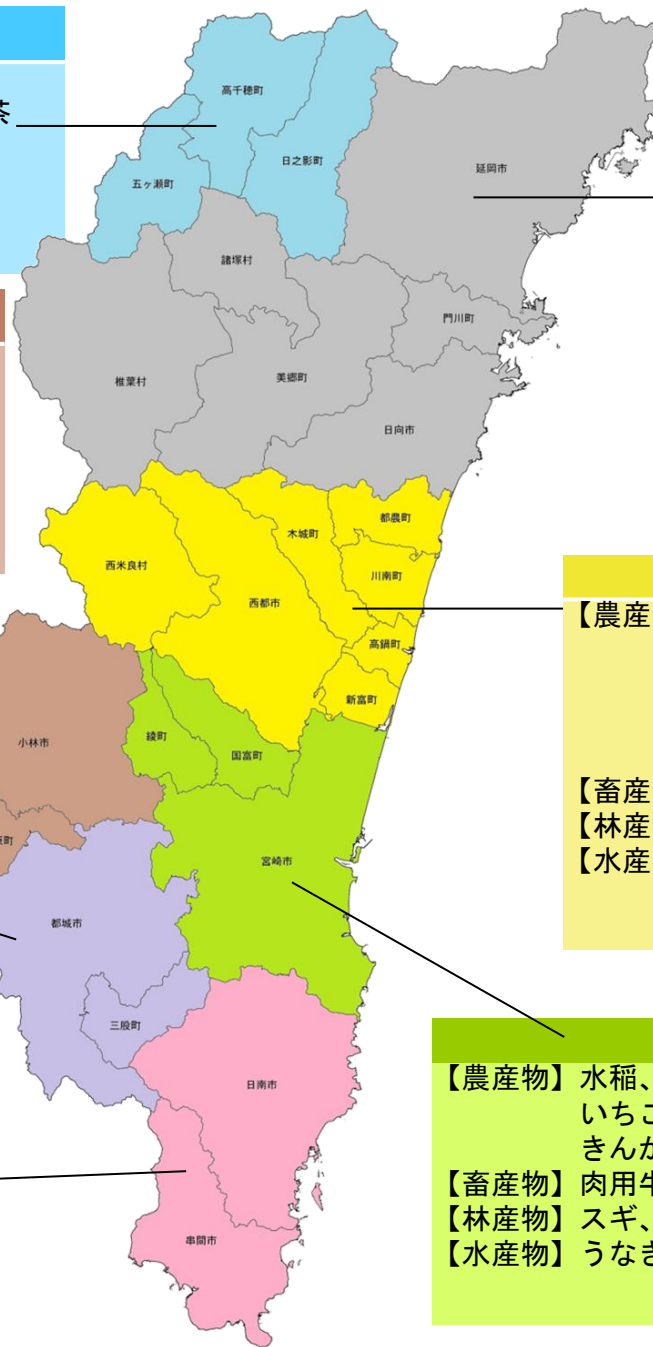
- 【農産物】 水稻、トマト類、たまねぎ、ほうれんそう、きんかん、くり、平兵衛酢（へべす）、かき、スイートピー、しきみ（切り枝）、ホオズキ、ユリ
- 【畜産物】 肉用牛、乳用牛、豚、ブロイラー、採卵鶏
- 【林産物】 スギ、乾しいたけ、木炭
- 【水産物】 いわし類、さば類、まぐろ類、ぶり類、まかじき、まあじ、あゆ、うなぎ、チョウザメ

児湯（こゆ）地区

- 【農産物】 水稻、ピーマン、きゅうり、トマト類、ほうれんそう、にら、スイートコーン、にがうり、いちご、ズッキーニ、マンゴー、ぶどう、ゆず、スイートピー、ユリ、シンビジウム、茶、葉たばこ
- 【畜産物】 肉用牛、乳用牛、豚、ブロイラー、採卵鶏
- 【林産物】 スギ
- 【水産物】 まぐろ類、チョウザメ、こい、うなぎ

中部地区

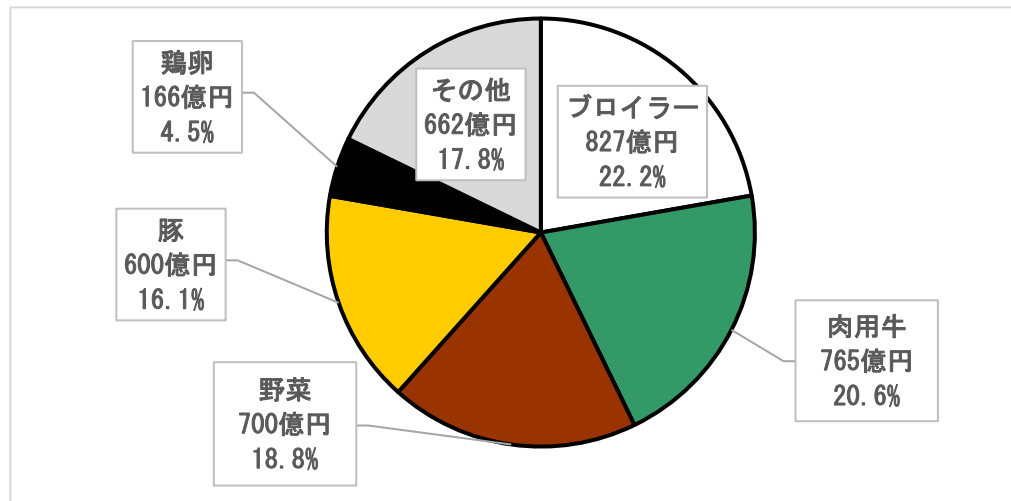
- 【農産物】 水稻、きゅうり、ピーマン、だいこん、トマト類、にら、いちご、しょうが、マンゴー、日向夏、温州みかん、きんかん、輪ぎく、バラ、コチョウラン、茶、葉たばこ
- 【畜産物】 肉用牛、乳用牛、豚、ブロイラー、採卵鶏
- 【林産物】 スギ、えのきたけ
- 【水産物】 うなぎ、ちりめん、いせえび



宮 崎 県 の 農 業 (1)

- ・農業産出額は3,720億円で全国6位。うち米が146億円(3.9%)、野菜が700億円(18.8%)、畜産が2,483億円(66.7%)。
- ・農畜産物の生産状況は、きゅうり、キンカン(金柑)、ヒュウガナツ(日向夏)が全国1位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分		年次	宮 崎 県	全 国	全国順位
きゅうり	収穫量	R5	61,700 t	530,200 t	1
ピーマン	収穫量	R5	25,500 t	144,000 t	2
肉用牛	飼養頭数	R6	258,200 頭	2,672,000 頭	3
豚	飼養頭数	R6	721,900 頭	8,798,000 頭	3
ブロイラー	飼養羽数	R6	28,155 千羽	144,859 千羽	2 *
マンゴー	収穫量	R4	1,258 t	3,559 t	2
キンカン（金柑）	収穫量	R4	2,619 t	3,573 t	1
ヒュウガナツ（日向夏）	収穫量	R4	3,445 t	5,870 t	1
にがうり	収穫量	R4	2,520 t	16,200 t	2 *
ズッキーニ	収穫量	R4	2,620 t	10,600 t	2

出典:「野菜生産出荷統計」、「畜産統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況」

農業産出額のデータ

区 分	宮崎県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	3,720 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	6
米	146 億円 (3.9)	15,193 億円 (16.0)	34
麦類	x 億円	678 億円	- *
雑穀	0 億円	77 億円	25
豆類	0 億円	572 億円	38
いも類	68 億円	2,301 億円	7
野菜	700 億円 (18.8)	23,243 億円 (24.5)	12
果実	148 億円 (4.0)	9,590 億円 (10.1)	16
花き	87 億円	3,522 億円	12
工芸農作物	32 億円	1,467 億円	9
その他作物	x 億円	585 億円	- *
畜産	2,483 億円 (66.7)	37,212 億円 (39.2)	3
肉用牛	765 億円	7,696 億円	3
乳用牛	94 億円	9,249 億円	16
生乳	86 億円	8,310 億円	17
豚	600 億円	7,194 億円	3
鶏	1,023 億円	12,033 億円	3
鶏卵	166 億円	7,413 億円	20
ブロイラー	827 億円	4,471 億円	2 *
その他畜産物	1 億円	1,041 億円	34
加工農産物	39 億円	513 億円	5

出典:「令和5年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注:()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」: 単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」: 事実のないもの

「…」: 調査を欠くもの

「x」: 秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」: 秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

宮 崎 県 の 農 業 (2)

- ・耕地面積は6万2,500haで全国20位。うち田が3万3,400ha、畑が2万9,000ha。
- ・農業経営体数は2万1,117経営体で全国23位。うち法人経営体が758経営体で11位。
- ・市町村認定及び都道府県認定経営体数は7,256経営体で全国10位。うち法人数が821法人で8位。
- ・農業生産関連事業は、農産加工の年間販売（売上）金額が508億円で全国5位、事業体数は450事業体で26位。

耕地面積

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
耕地面積	62,500 ha	4,272,000 ha	20
田	33,400 ha	2,319,000 ha	29
畑	29,000 ha	1,952,000 ha	15
普通畑	24,500 ha	1,118,000 ha	13
樹園地	3,480 ha	248,600 ha	20
牧草地	1,100 ha	585,900 ha	16
参考) 総土地面積	7,734.16 km ²	377,975.68 km ²	14

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	3,120 ha	256,676 ha	30

出典：「令和5年度の荒廃農地面積(令和6年3月31日現在)」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
農業経営体数	21,117 経営体	1,075,705 経営体	23
法人経営体	758 経営体	30,707 経営体	11
総農家数	30,940 戸	1,747,079 戸	27
販売農家	20,304 戸	1,027,892 戸	23
参考) 世帯総数	470,055 世帯	55,830,154 世帯	34
集落営農数	89 集落営農	13,998 集落営農	37

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和6年集落営農実態調査結果(令和6年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	36,712 ha	2,593,345 ha	16
集積率	57.6 %	60.4 %	12

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和5年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	31,570 人	1,363,038 人	20
男	18,404 人	822,144 人	21
女	13,166 人	540,894 人	17
65歳以上	19,533 人	948,621 人	23
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	61.9 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	7,256 経営体	216,784 経営体	10
法人数	821 法人	29,128 法人	8
参考) 人口総数	1,069,576 人	126,146,099 人	35

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和6年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 50,793 百万円 事業体数 450 事業体	999,786 百万円 27,760 事業体	5 26
農産物直売所	総額 23,425 百万円 事業体数 330 事業体	1,126,420 百万円 21,240 事業体	20 28
観光農園	総額 289 百万円 経営体数 50 経営体	37,281 百万円 5,050 経営体	34 26
農家民宿	総額 30 百万円 経営体数 30 経営体	5,352 百万円 1,140 経営体	31 * 9
農家レストラン	総額 1,489 百万円 事業体数 30 事業体	39,434 百万円 1,360 事業体	5 * 15

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

宮 崎 県 の 林 業

- ・林業産出額は294.5億円で全国4位。うち木材生産が243.9億円、栽培きのこ類生産が48.7億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国2位、すぎ、木質粒状燃料が全国1位、乾しいたけ、乾きくらげ類が2位、えのきたけが3位。

林業産出額

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
林業産出額	294.5 億円	5,562.5 億円	4
木材生産	243.9 億円	3,257.0 億円	2
栽培きのこ類生産	48.7 億円	2,199.2 億円	9

出典：「令和5年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
素材生産量	2,001 千m ³	20,647 千m ³	2
針葉樹	1,973 千m ³	18,926 千m ³	2 *
すぎ	1,846 千m ³	11,917 千m ³	1
ひのき	126 千m ³	3,180 千m ³	10 *
広葉樹	28 千m ³	1,721 千m ³	12 *
えのきたけ	生産量 6,938 t	117,543 t	3 *
乾しいたけ	生産量 310 t	1,816 t	2
乾きくらげ類	生産量 8 t	122 t	2 *
木質粒状燃料	生産量 29,526 t	158,646 t	1 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
林野面積	585,908 ha	24,770,201 ha	13
国有林	176,561 ha	7,153,338 ha	10
民有林	409,347 ha	17,616,863 ha	15
人工林面積	333,086 ha	10,133,111 ha	8

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,796 経営体	34,001 経営体	2
法人経営体	175 経営体	4,093 経営体	4

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
製材工場数	120 工場	3,749 工場	9
製材用素材の入荷があった工場数	120 工場	3,722 工場	9
国産材のみ	114 工場	3,116 工場	6
国産材と輸入材	6 工場	511 工場	30

出典：「令和5年木材統計」

宮 崎 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は436億円で全国12位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のびんながが全国1位、かつおが5位、海面養殖業のかんぱちが3位、ぶりが4位、内水面養殖業のうなぎが3位。
- ・ 漁業生産関連事業は、水産加工の年間販売（売上）金額が119億円で全国4位、事業体数は20事業体で18位。

漁業産出額

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	436 億円	15,265 億円	12
海 面 漁 業	258 億円	9,534 億円	9
海 面 養 殖 業	178 億円	5,731 億円	14

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	812 経営体	65,662 経営体	28
内水面漁業経営体数	76 経営体	4,076 経営体	15

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	1,996 人	121,389 人	21
男	1,922 人	109,757 人	21
女	74 人	11,632 人	24

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
漁船隻数	1,212 隻	109,283 隻	29
動力漁船	1,022 隻	58,906 隻	21

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	97,616 t	3,777,921 t	12 *
海面漁業漁獲量	82,611 t	2,926,411 t	8
びんなが	9,083 t	38,194 t	1 *
かつお	15,633 t	192,219 t	5 *
海面養殖業収獲量	15,005 t	851,509 t	19 *
ぶり	11,334 t	94,646 t	4 *
かんぱち	2,033 t	24,658 t	3 *
内水面漁業・養殖業生産量	3,610 t	51,908 t	4 *
内水面漁業漁獲量	27 t	21,567 t	24 *
あゆ	5 t	1,697 t	19 *
内水面養殖業収獲量	3,583 t	30,341 t	3 *
うなぎ	3,358 t	18,341 t	3 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分		宮 崎 県	全 国	全国順位
水産加工	総額	11,886 百万円	179,159 百万円	4 *
	事業体数	20 事業体	1,220 事業体	18
水産物直売所	総額	789 百万円	34,988 百万円	15 *
	事業体数	20 事業体	810 事業体	11
漁家民宿	総額	27 百万円	5,389 百万円	28 *
	経営体数	10 経営体	540 経営体	13
漁家レストラン	総額	1,008 百万円	13,249 百万円	5 *
	事業体数	10 事業体	380 事業体	8

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

宮崎県の農林水産業の話題等

世界農業遺産・日本農業遺産

世界農業遺産（平成27年度）

○高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム（高千穂郷・椎葉山地域）

険しく平地が少ない山間地において、和牛や茶の生産、棚田での稲作、焼き畑、針葉樹による木材生産と広葉樹を活用したしいたけ栽培等、多様な農林業を組み合わせたシステム。森林等の自然景観と農林業の調和が図られ、生物多様性が保全されている他、五穀豊穡を願う神楽などの伝統文化も継承されている。

日本農業遺産（令和2年度）

○造船材を産出した飫肥林業と結びつく「日南かつお一本釣り漁業」（日南市）

約300年間続く伝統漁法のかつお一本釣り漁業が水産資源の保全につながる漁法であることや、かつては地域で生産される飫肥杉が漁船に使われるなど、漁業と林業を合わせたシステムであることが認められた。漁業者も整備に協力する飫肥杉の山々から栄養塩が流れ込む豊かな海で、かつおの餌を畜養するなど、現在においても林業と漁業が密接に関連している。

○宮崎の太陽と風が育む「干し野菜」と露地畑作の高度利用システム（田野・清武地域）

耕畜連携により、土作りを行いながら約100年前から大根を干し野菜に加工して、地域の収益の安定につなげ、大根を干すやぐらの景観も観光資源などに生かした地域全体の取組が評価された。乾燥した冬の西風を利用して大根を干す「大根やぐら」が特徴的な冬季景観を形成。

新造の大型カーフェリー2隻が就航「宮崎の農畜産物を大消費地へ！」

○令和4年度に、宮崎と神戸をつなぐ大型カーフェリー「フェリーたちほ」「フェリーろっこう」が就航。

○宮崎カーフェリーの新船「フェリーたちほ」と「フェリーろっこう」は、トラックの積載台数が従来船（130台）から33台増えて163台となった。

○これまで、繁忙期には満船になることから、すべてのトラックを載せきれないこともあったが、積載台数の増加により、宮崎が誇る新鮮で高品質な農畜産物をより多く大都市に運ぶことができるようになった。

○宮崎－神戸航路は「本県経済の生命線」であり、農業県の本県にとって極めて重要な役割を担っている。

○令和6年4月から「働き方改革関連法」の施行により、「物流の2024年問題」が懸念されたものの、農水産品輸送の受け皿として期待されている。



仙人の棚田（椎葉村）



かつお一本釣り（日南市）



大根やぐら（田野町）



フェリーたちほ